

道徳の授業 「あいさつ」について

1 はじめに

校内研修の全体提案を道徳の授業で実施したようで、その指導案が私の机の上に置いてありました。指導案を読んだ感想を指導者に渡しました。その内容を紹介します。なお、指導案は概ね下の枠内の通りです。

- | | | |
|---|---------|---|
| 1 | 教材名 | 「愛情貯金をはじめませんか」
【中学道徳 あすを生きる1(日本文教出版社)】 |
| 2 | 主題名 | 礼儀の心 |
| 3 | 内容項目 | B-(7) 礼儀 |
| 4 | 目的 | あいさつの意義などを主体的に考え理解し、時・場所・場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。 |
| 5 | 本時の指導過程 | |
| | 導入 | |
| | 展開 | (教材を読み、考える。) |
| | | ① 「あいさつの有無でずいぶんと気分が変わる」のはどうしてだろう。 |
| | | ② 「被災した独り暮らしのおばあさんが、声をかけてもらおうと励みになるというのはどうしてだろう。」 |
| | | ③ 【体験しよう】二人組になって、「笑顔のとき」「ムツとしていたとき」の「おはようございます」を言い合ってみよう。言われた人はどんな気持ちでしたか伝え合おう。 |
| | | ④ 【体験しよう】「おはようございます」のあとに、どんなことを言えばよいか考えてみよう。 |
| | 終末 | 話し合ったことをもとに、自分の考えをまとめる。
あいさつについて、これからどんなことを大切にしていきたいか、まとめてみよう。 |

2 指導者への手紙

提案授業お疲れ様でした。指導案をみせていただきました。私の感想を述べます。

- 教材をしっかり読み込むこと、教材の内容を十分理解することが本時の目的ではありません。教材からあいさつについて考えさせることが目的です。
- 「あいさつについて理解し、実践意欲と態度を育てる」と指導案に本時の目的が書かれています。それならば、あいさつについて、これまでの自分について振り返りをするのが重要ではないでしょうか。それならば、展開後半を次のようにしてはどうでしょうか。

発問1 これまでの生活を振り返ります。

あいさつをして気持ちいいなと思った経験

あいさつをしたのに、いやな気持ちになった経験

あいさつをすればよかったという経験

どんな場面であったか(5W1H)

そのとき、どんな気持ちになったか

ワークシートに自分の経験を書きましょう。(その後、班で交流する。)

発問2 生活の振り返りをもとに(自分の経験、班での交流をもとに)、あいさつについて自分の考えを書きましょう。(その後、班で交流する。)

次の内容を期待する。この記述内容を道徳の評価に活用する。

・あいさつの意義についての自分なりの考え

・あいさつについて、これから大切にしていきたいこと。こうしようと思うこと。

○これまでの生活を振り返ることに時間が必要です。教材に書かれている内容を十分に理解することが目的ではないことから考えると、本時の展開内容を削減する必要があります。私なら、発問①④をカット、または、発問①②をカットします。

○これまで言われてきたことです。

・道徳では、いかに資料から離れて、自分に引き寄せて考えさせることができるかがポイントである。

・教科書を学ばせるのではなく、教科書で学ばせる。

○繰り返しになって申し訳ありません。道徳の授業は、教科書で道徳的価値について考えさせることであり、道徳の教科書の内容を理解させることではありません。

○次回の授業では次のことを提案します。

・展開前半 資料から道徳的価値について考える 20分間

・展開後半 自分の生活から道徳的価値について考える 20分間

以上、私の感想です。参考になれば幸いです。